

# ちばっ子の学びを変革！

## 千葉県の実践フィールド校の取組（平成28年度）

校名	我孫子市立我孫子第一小学校
研究概要	<p>○研究主題</p> <p>自ら課題を発見し、主体的・協働的に学ぶことができる児童の育成 ～生きてはたらく表現力を育む“総合表現活動”を通して～</p> <p>○平成28年度の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実社会・実生活に生きて働く表現力を育むために、教科横断的な視点で行う学習活動を「総合表現活動」と独自に名付け取り組む。特に、国語科と生活科・総合的な学習の時間を関連させた授業づくりを行う。</li> <li>・各教科において、「主体的な学びの手立て」「対話的な学びの手立て」を考え授業づくりを行う。</li> <li>・アクティブ・ラーニング「授業評価シート」を活用し、教師自身が授業のふり返しを行う。</li> </ul> <p>○研修の推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究主任と副研究主任が中心となって推進する。</li> <li>・教務主任に各学年の代表1名を加え、研究推進委員を組織する。</li> <li>・月に一度の研究推進委員会、また必要に応じて臨時研究推進委員会を開き、研修の方向性や新たな提案事項について話し合う。</li> <li>・月に一度の全体研修会を開き、理論研修や演習を学年単位のグループで行う。</li> <li>・1学期に教科部会を設け、教科ごとに「主体的な学びの手立て」「対話的な学びの手立て」を考え話し合う。</li> </ul> <p>○研修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アクティブ・ラーニング」「語彙指導」「カリキュラム・マネジメント」についての理論研修</li> <li>・「総合表現活動」を位置づけた授業の参観及び協議会</li> <li>・総合的な学習の時間・生活科の年間計画見直し</li> <li>・国語科と生活科・総合的な学習の時間を関連させた授業の構想</li> <li>・アクティブ・ラーニング「授業評価シート」の活用</li> <li>・研修のふり返し</li> </ul>

実践報告	○主な授業実践		
	4年	国語科	I ラブあびこ 写真をもとに手賀沼についての想いを伝えよう
	手賀沼の水質・生き物についての講座，体験学習を行い課題をもつ。(総合的な学習の時間)		
	 <p>写真を自分で選び，手賀沼についての自分の想いを3年生に伝える。(国語科)</p>		
○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての手立てとその成果(本時)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師見本の話を書く。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→工夫している点を見つけながら聞くことで，自分自身のスピーチの工夫につなげることができた。</li> </ul> </li> <li>・ペアで発表練習を行う。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→話すことに苦手意識を感じている児童も進んで練習に取り組むことができた。また，友達のスピーチを参考にして自分のスピーチを書き直す様子も見られた。</li> </ul> </li> </ul>			
5年	国語科	あなたの意見は？ 素敵な我孫子の未来のために意見文を書こう	
我孫子市役所の手賀沼課と野鳥を守る会から我孫子の「開発」と「鳥」についての話を聞き，課題をもつ。(総合的な学習の時間)			
 <p>“開発か？鳥の保護か？”自分の立場を選び，根拠に基づいて意見文を書く。(国語科)</p>			
○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての手立てとその成果(本時)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を書いたカードを用いた交流活動。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→互いの考えを明確にし，より良い意見文を書くための話し合いをすることができた。</li> </ul> </li> <li>・学習グループの工夫。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>→立場の異なる3人グループで我孫子の未来についての意見と根拠について話し合わせることで，考えを広げたり，深めたりすることができた。</li> </ul> </li> </ul>			

# ちばっ子の学びを変革！

千葉県の実践フィールド校の取組（平成28年度）	
校名	我孫子市立我孫子中学校
研究概要	<div style="text-align: center;"> <p>【研究主題】 「新時代を生きるために、自ら考え、判断し、表現する生徒」の育成 ～アクティブ・ラーニング型授業の実践を通して～</p> <p>↓</p> <p>目指す授業の姿：「生徒と共に作り上げる授業」</p> <p>↓</p> <p>重点目標</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: 30%;"> <p>H27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒たちが課題を掴み、課題を自分のものにする学習課題（問題）の探究</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <p>H28</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協働的に「学びを深める」手立て</li> <li>単元指導計画の在り方の探究</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: 30%;"> <p>H29</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒と共に創り上げる我孫子中版AL型授業の提案</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 60%;"> <p>全校体制で取り組む</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid yellow; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の「目指す生徒像」をもとに教材研究を進める</li> <li>中学校区研究主任会で、小学校との手立ての共有を行う</li> <li>教科を越えた授業参観、研究協議会を行う</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%; text-align: center;"> <p>生徒はどのように に学んでいるか に注目</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%; text-align: center;"> <p>授業をより良くする ためにはどうすれば よいか</p> </div> </div>

実践報告

【授業実践報告】 例) 第2学年 理科 「動物の生活と生物の進化」

理科として目指す生徒像

自ら疑問を見出し、目的意識をもって、観察・実験に取り組み、理由を説明することができる生徒

「深い学び」を実現するために、生徒たちが自分たちで協力して解決し、「納得解」を出せるような学習課題を設定。

【学習課題】

ものさしをすぐにつかめないのはなぜだろうか。



繰り返し実験をしながら、理由を考え、わかりやすく説明するために生徒同士で話し合い、発表した。



理論(反射のしくみ)を理解し、応用することができる課題を設定。

授業後に、教科を越えた AL 型研究協議会を開催。協議会においても学習課題を設定し、課題解決に向けた協議が行われた。

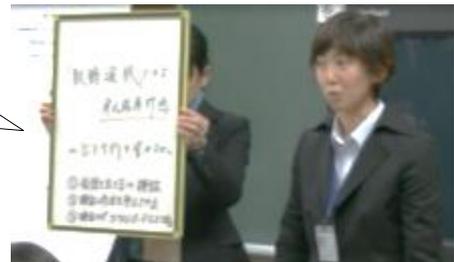
【学習課題】

「生徒の学びを深める手立て」を提案しよう。



拡大指導案に付箋を貼りつける。  
赤…生徒の学びが深まっているところ  
青…生徒の学びが停滞しているところ

「自分の教科であれば…」、「自分の教科の部分と関連付けたい」と教科を越えた視点や学校として育てたい資質・能力を考えました。



全体協議の後に自主的に各教科部会を開き、学習内容の面を協議しました。

# ちばっ子の学びを変革！

千葉県の実践フィールド校の取組（平成28年度）	
校名	千葉県立我孫子東高等学校
研究概要	<p style="text-align: center;">【研究主題】</p> <p>『新たな未来を築くために、自らの力を育み（基礎学力）、自らの能力を引き出し（コミュニケーション能力）、主体的・協働的に学ぶ生徒の育成』 ～基礎的・汎用的能力を育成するために～</p> <p style="text-align: center;">【研究目標】</p> <p>全職員が新たな学びについて知り、自らの授業実践を振り返るとともに授業計画に活かす。生徒のアクティブ・ラーニングにつながる工夫点について、指導者自身で振り返ることや教員同士の意見交流で自覚し、ねらいをもって意図的に授業計画に導入し実践する。</p>
実践報告	<p>◎平成28年11月9日（水） 第1回 校内研究会</p> <p>○1学年理科（化学基礎）物質質量と化学反応式「物質質量」</p> <p>主体的な学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの考えをまとめ、表現する</li> <li style="padding-left: 20px;">本時の課題を探究し、自らの考えをまとめ、班員に伝え、表現する。</li> </ul> <p>協働的な学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班活動、学級で結果を共有する</li> <li style="padding-left: 20px;">班での結果を共有し（教え合い）、理解する。発表から結果を理解し、考察する。</li> </ul> <p>本時の学習課題「身近な食材を用いて物質の量を表してみよう」</p> <p><math>6.0 \times 10^{23}</math> という視覚的に捉えることが難しい数値を豆やゴマを教材にすることによって、粒子の概念の再認識と、班で協力して行う数値の解析の場面を設定した。計算が苦手な生徒が多い中、班のメンバーと協力して何とかして数値を導きたいという姿勢を感じることができた。授業展開が生徒の活動によって刻々と変化するため、さらに事前の教材研究、準備、授業内での支援を意図的に仕組んでいきたい。</p> <p style="text-align: right;">（授業者より）</p>
	

○2学年国語（国語総合研究）読書を広げる「夢十夜」

主体的な学びの手立て

・基礎問題演習

漢字や語句の意味などの基礎問題に取り組み、自らの定着度を確認する。

・教師の見本

教師が見本を示すことで、自分の意見や創作物に自信をもって発表できるようにする。

協働的な学びの手立て

・基礎問題演習の採点

基礎問題の解答を生徒同士で交換し採点を行う。その際に労いの言葉をかける。

・他者の意見を捉え、理解を深める

他者の創作物から他者の意見を推測し、相互に評価する。

本時の学習課題「第一夜のベストシーンを発表し、第一夜を理解しよう」

小説の舞台や場面を想像することができず、内容把握が難しいと感じる生徒が多いため、各自が想像する場面を絵に表す活動を取り入れた。自分の意見や創作物に自信をもてず（失敗を恐れて）発表できない生徒に対して、まず教師がモデルを示すことで自信をもって発表し、各自の創作物がどの場面を示しているかを他者が考える活動を通し、内容把握につながる事が分かった。今後も教材研究に努め、授業のねらいに即した活動を取り入れていきたい。（授業者より）



◎平成28年11月29日（火） 校内研修  
 国立教育政策研究所 向後 秀明 先生による講演会



◎平成29年1月18日（水） 校内研修  
 授業展開  
 国立教育政策研究所 向後 秀明 先生による講演会

◎平成29年1月20日（金） 校内研修  
 明星大学教育学部 中田 正敏 先生による講演会



◎平成29年1月30日（月）～1月31日（火）  
 視察研修  
 広島県立安芸南高等学校（畑 喜美夫 教諭）